

様式第3号

一関中学校・南小学校学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第2回一関中学校・南小学校学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和7年10月31日（木） 15時30分から16時30分まで
- 3 開催場所 一関市立一関中学校 校長室
- 4 出席者 藤村実千代（副会長） 千田智明
平間昭紀、小野寺徹、沼倉恵子、千葉美佳子、佐々木伸也
小岩孝朗、岩清水裕行、菅野剛英（10名出席）
（3名欠席）藤田昭洋、松尾芳弘（会長）、若山義典

5 議 題

- (1) 生徒を取り巻く情報トラブルについて
- (2) 一関中学校 生徒を支える地域の環境について
- (3) 南小学校 児童を支える地域の環境について
- (4) その他

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴人 0人

8 議事内容

- (1) 生徒を取り巻く情報トラブルについて（話題提供：佐々木成三氏より）

佐々木氏：ネットの中でコミュニティを作る事は簡単であるし、児童生徒は手に入る情報全てが正しいものと勘違いし、いじめを含めた犯罪や性に関わる犯罪に巻き込まれている。また、周囲と同じだと楽だと思う傾向もあり、同調圧力に負けてしまう。ゆがんだ価値観の是正のため、性教育を含め、早い段階から家庭でも教育をすべき。そして、家の中が一番安心できる場所であってほしい。学校は、大人と生徒がふれ合える場所であってほしい。

委 員：通信機器の使用について、学校ではどのように指導？

小岩委員：使い方の指導をすることをメインとしている。授業等でもタブレットなしでは学習が成り立たない環境となってきた。

委 員：スマートフォン等かなりの数の生徒が所持しているようだが、家では持たせていない。付き合い方はうまくできているのかと心配になる。

佐々木氏：スマホはナイフにもなる必需品である。使い方を教えていく必要がある。知らない子が先生になる事が怖い。いかに早く情報モラルとセットに教えていく必要がある。

委員：有害図書の情報。大人がどうしていくのかを見極める必要がある。

佐々木氏：デジタルに依存させない手立てが必要。

委員：地域の力も大事になる。

(2) 一関中学校 生徒を支える地域環境について（話題提供：小岩校長）

委員：生徒間での情報のトラブルはあったりするか、

小岩委員：大きなトラブルはないが、言った、言わない、などがある。保護者向けのアンケート、教育相談などで信頼して相談してもらう。困ったときに相談をしてもらう関係性が大事であり、問題が小さいうちに解決する事を意識している。

委員：不登校は？

小岩委員：不登校生徒、別室登校もいる。虹の学園、それぞれの居場所、関係性の中で、コミュニケーションする事が大事。籠ることが厳しい。個別対応などあり。

委員：PTAの活動の際、親ができる事、できない事、必要以上に子どもたちの中に入らない事を意識している。お手伝い。必要とされるときに、困ったときに頼れる存在でありたい。時代と共に変わっていることもあるが。

(3) 南小学校 児童を支える地域環境について（話題提供：佐々木校長）

委員：毎年、南小、関中の環境整備の時期が決まっていたら、あらかじめ教えてほしい。計画的にボランティアを募集できる。参加者には市の補助金などで支給。

委員：運動会、体育祭などを中心に、今後とも提携できると良い。

委員：不審者等の声掛け事案？学区であったが、小中共にあるか？

佐々木委員、小岩委員：今のところは発生していない

委員：一関の防災のメール等の活用を広めたい。

委員：保育園では熊の避難訓練を実施。11月、園で食べ物関係の行事は、外でやらないこととした。

委員：地域の力は偉大だし、大事。困っている事をどんどん教えていただきたい。

(4) その他

・第3回学校運営支援協議会について

一関中：昨年度同様、最終回は2月頃の開催で考えている。次年度の方向性の確認

委員：異議なし